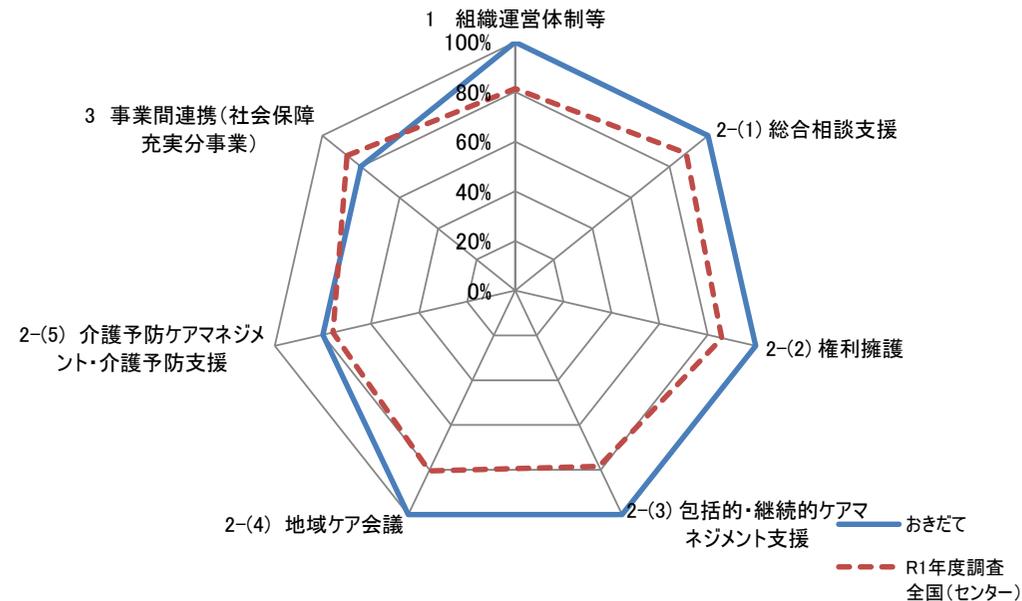


## 平成 30 年度地域包括支援センター運営評価結果の概要

## 【カテゴリーと評価項目の対応関係】

- 1 組織・運営体制等（組織運営、個人情報管理、利用者満足向上）
- 2 個別業務 -
  - (1) 総合相談支援
  - (2) 権利擁護
  - (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援
  - (4) 地域ケア会議
  - (5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
- 3 事業間連携（社会保障充実分事業）

## ①地域包括支援センターおきだて 平成30年度運営評価結果の概要



### 【評価】

- ・すべての項目において、バランスよく取り組まれており、おおむね全国平均を上回った自己評価となっている。
- ・3事業間連携(社会保障充実分事業)の自己評価が全国平均より低い。

### 【課題】

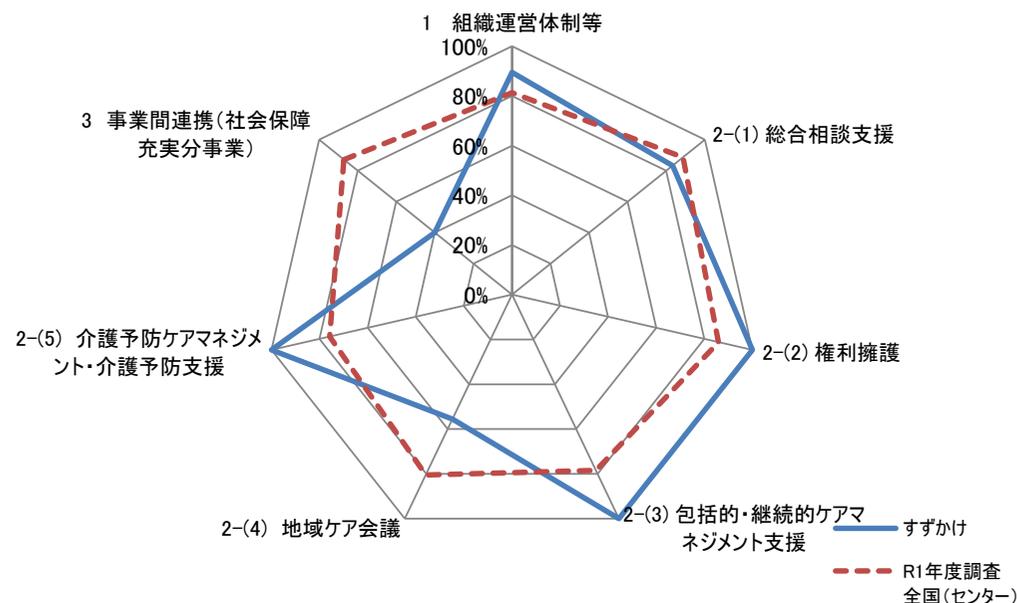
- ・3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目では、認知症対応に関する連携が十分とれていない。

### 【昨年度の課題】

- ・地域ケア会議が平日の日中帯のみの開催のため、医療関係者の参加が難しい ⇒ 会議開催日時等の工夫により、改善されている(2人→16人)
- ・社会資源のマップやリストの見直しが毎年ではなく、2年に1度のペースになっている ⇒ 毎年見直しするよう改善した

赤字: 2年連続で改善されていない  
青字: 改善されている

## ②地域包括支援センターすずかけ 平成30年度運営評価結果の概要



### 【評価】

- ・ 運営評価結果では、取組のばらつきがある。
- ・ 2-(1)総合相談支援、2-(4)地域ケア会議、3事業間連携(社会保障充実分事業)の自己評価が全国平均より低い。

### 【課題】

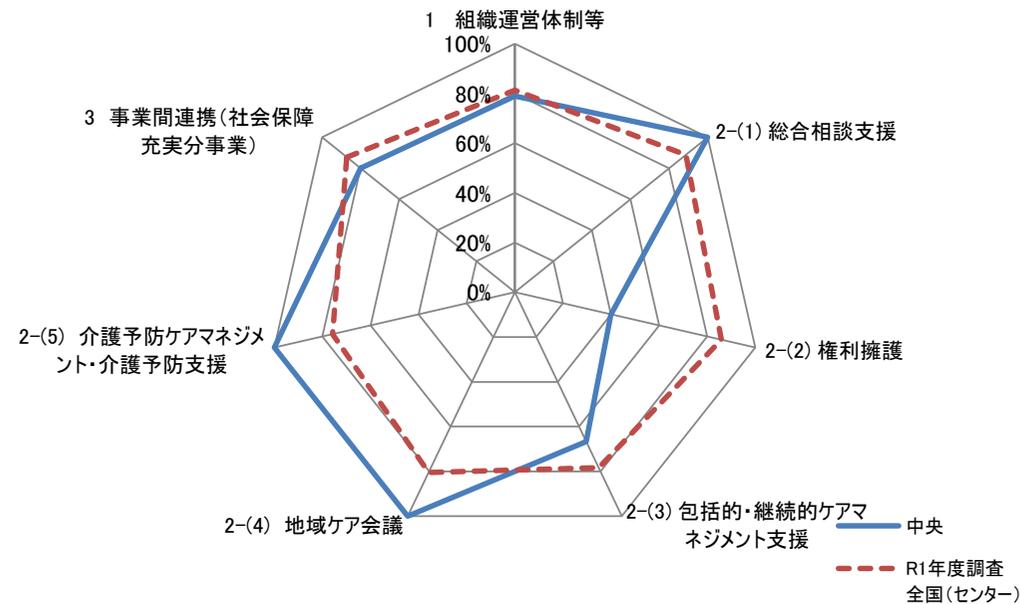
- ・ 2-(1)総合相談支援の項目では、社会資源マップやリストの管理ができていない。
- ・ 2-(4)地域ケア会議の項目では、会議参加者への情報共有や事例のモニタリングができていない。
- ・ 3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目では、地域包括支援センターから生活支援コーディネーター等への連携ができていない。

赤字: 2年連続で改善されていない  
青字: 改善されている

### 【昨年度の課題】

- ・ 社会資源のマップやリストの見直しが行われていない ⇒ 改善されていない  
令和元年度は社会福祉士部会で市内全域の社会資源マップの作成に取り組んでいる
- ・ 高齢者虐待、消費者被害について、専門職・地域住民双方への啓発活動が行われていない ⇒ 啓発活動を実施しており、改善されている
- ・ 規定回数以上、地域ケア会議を開催できていない ⇒ 改善されていない(12回以上開催に対し9回の開催である)

### ③中央地域包括支援センター 平成30年度運営評価結果の概要



#### 【評価】

- ・ 運営評価結果では、取組のばらつきがある。
- ・ 2-(2)権利擁護、2-(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援、3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目の自己評価が低い。

#### 【課題】

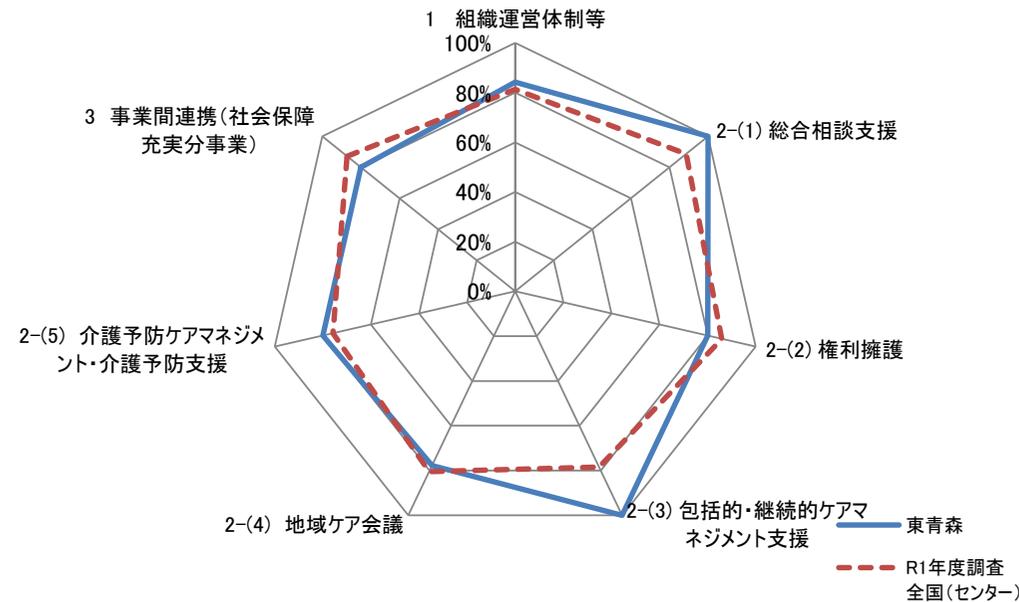
- ・ 2-(2)権利擁護の項目では、相談を受けた後の情報共有や連携が図られていない。
- ・ 2-(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援の項目では、担当圏域のケアマネジャー支援がやや低い。
- ・ 3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目では、地域包括支援センターから生活支援コーディネーター等への連携ができていない。

赤字: 2年連続で改善されていない  
青字: 改善されている

#### 【昨年度の課題】

- ・ 社会資源マップやリストの見直しが行われていない ⇒ 改善されている
- ・ 相談室に仕切りを設ける等の配慮がなされていない ⇒ 相談スペースに仕切りを設けるなど、改善されている
- ・ 日常生活圏域ケア会議が情報共有、研修の場に留まっており、課題の検討に至っていない ⇒ 研修や情報共有をし、課題の検討を行っており、改善されている

## ④東青森地域包括支援センター 平成30年度運営評価結果の概要



### 【評価】

- すべての項目において、バランス良く取組まれており、全国平均と同等の自己評価となっている。

### 【課題】

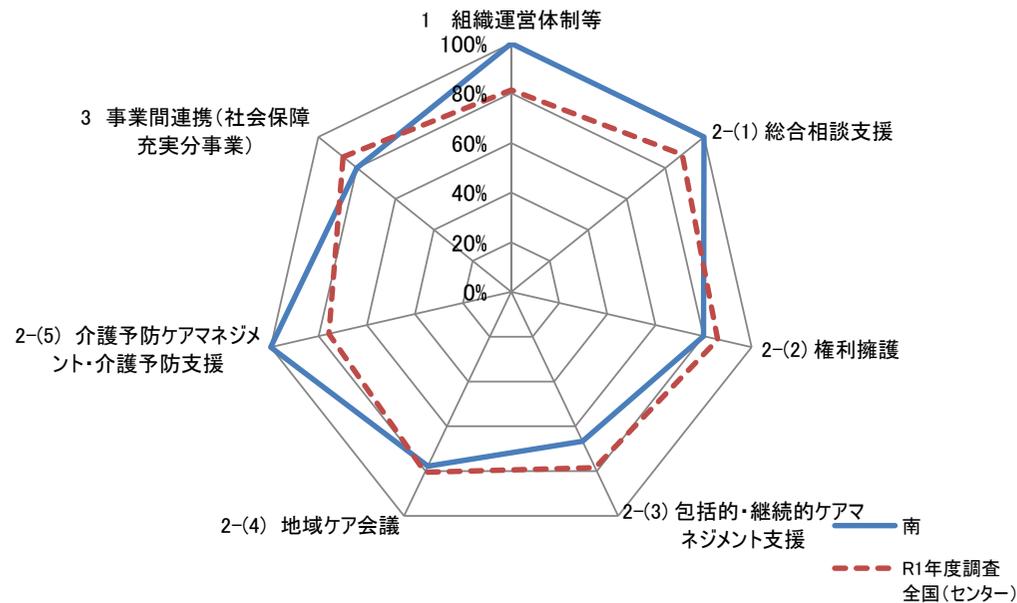
- 日常生活圏域ケア会議で地域課題について検討されているものの、不十分であり、会議参加者への情報共有がされていない。
- 3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目では、認知症対応に関する連携が十分とれていない。

### 【昨年度の課題】

- 圏域の介護支援専門員の課題の分析が行われていない ⇒ 圏域の介護支援専門員のニーズや課題に基づき、地域ケア会議を開催しており、改善されている
- 日常生活圏域ケア会議で具体的な課題の検討がされていない ⇒ 情報共有の場に留まっており、課題検討まで至っておらず改善されていないが、令和元年度は、開催方法を工夫し、課題検討を行っている

赤字: 2年連続で改善されていない  
青字: 改善されている

## ⑤南地域包括支援センター 平成30年度運営評価結果の概要



### 【評価】

- ・すべての項目に対して、バランスよく取組まれている。
- ・全国平均と比較すると、2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援の自己評価がやや低い。

### 【課題】

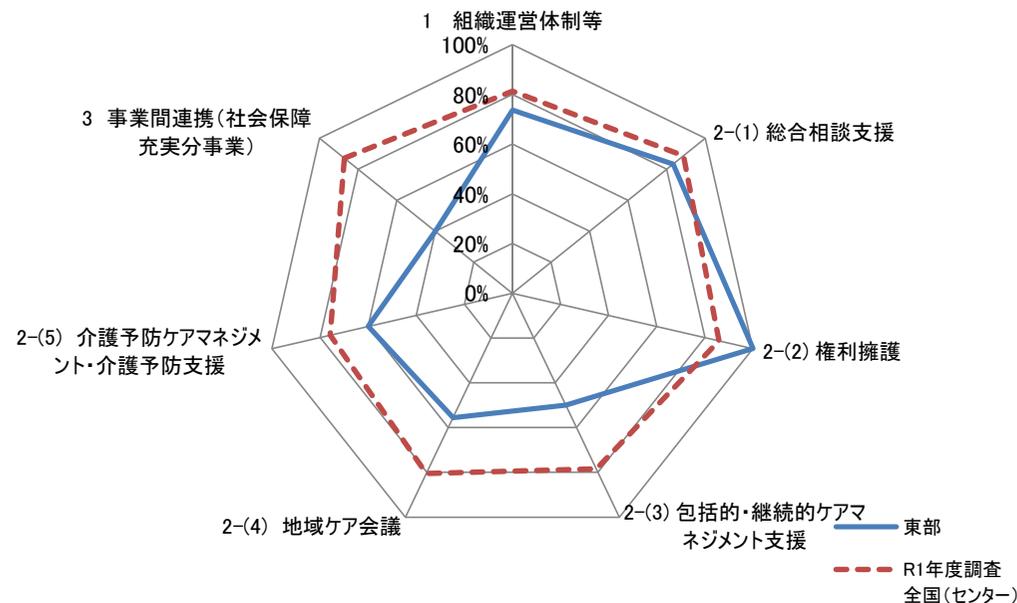
- ・2-(2) 権利擁護の項目では、消費者被害に関する情報提供が不十分である。
- ・2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメントでは、介護支援専門員への支援が不十分である。
- ・3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目では、認知症対応に関する連携が十分とれていない。

### 【昨年度の課題】

- ・社会資源マップの見直しが行われていない ⇒ 改善されている
- ・権利擁護に関する地域住民向けの普及啓発活動が行われていない ⇒ 出前講座等で消費者被害に関する情報提供が実施されており、改善されている

赤字: 2年連続で改善されていない  
青字: 改善されている

## ⑥東部地域包括支援センター 平成30年度運営評価結果の概要



### 【評価】

- ・ 7項目のうち、6項目が全国平均を下回った自己評価結果であり、特に3事業間連携(社会保障充実分事業)の自己評価が非常に低い。

### 【課題】

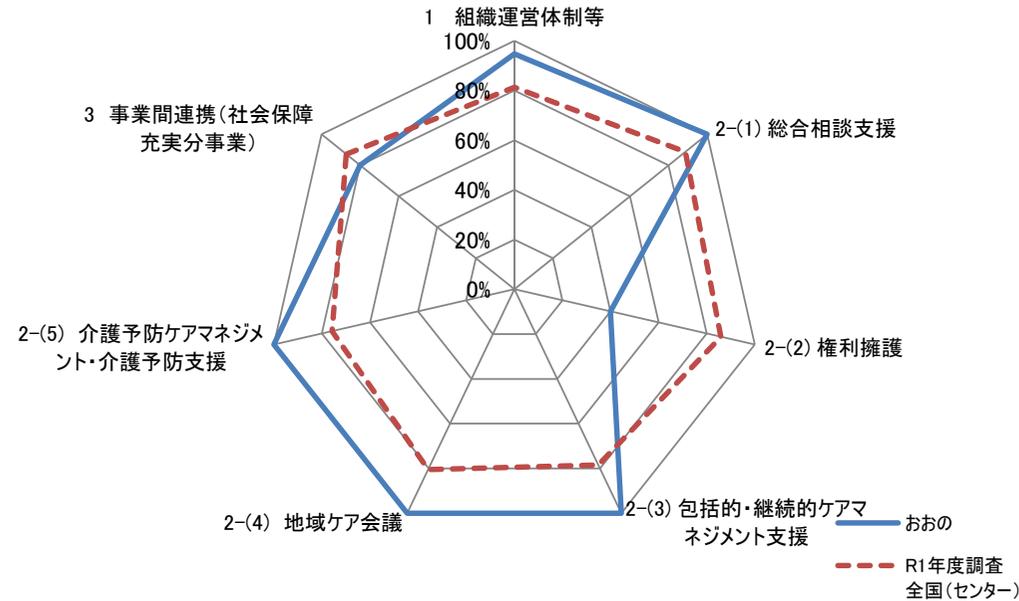
- ・ 各項目に対する自己評価が厳しいものとなっている。
- ・ 1組織運営体制等では、各種計画や重点項目等の設定等が不十分である。
- ・ 2-(3)包括的・継続的ケアマネジメントでは、介護支援専門員への支援がまだ不十分である。
- ・ 3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目では、地域包括支援センターから生活支援コーディネーター等への連携ができていない。

赤字: 2年連続で改善されていない  
青字: 改善されている

### 【昨年度の課題】

- ・ 社会資源のマップやリストの見直しが行われていない ⇒ 改善されていない  
令和元年度は社会福祉士部会で市内全域の社会資源マップの作成に取り組んでいる
- ・ 消費者被害に関する啓発活動が行われていない ⇒ 改善されている
- ・ 圏域の介護支援専門員の課題分析が行われていない ⇒ 定期的なケアマネ支援会議等を開催し、改善されている

## ⑦おおの地域包括支援センター 平成30年度運営評価結果の概要



### 【評価】

- ・ 2-2) 権利擁護の項目は、自己評価が非常に低いですが、他の項目はバランスよく取組まれている。

### 【課題】

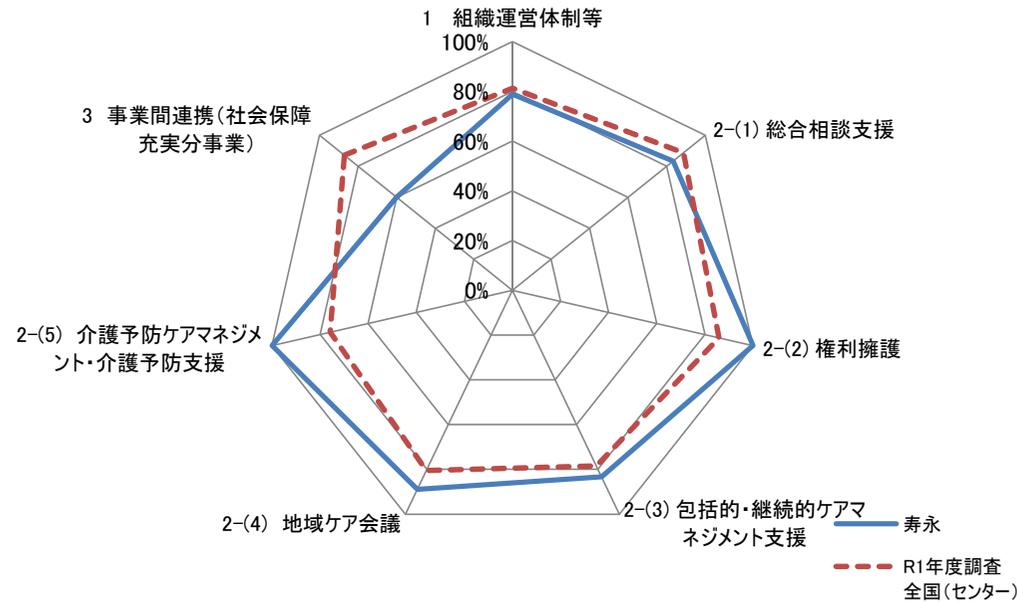
- ・ 2-2) 権利擁護の項目は、連携体制や普及啓発活動は十分されているが、消費者被害に関する相談実績がない。
- ・ 3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目では、認知症対応に関する連携が十分とれていない。

### 【昨年度の課題】

- ・ 社会資源のマップやリストの見直しが行われていない ⇒ 改善されている
- ・ 消費者被害に関する取組が不十分である ⇒ 関係機関と連携し、普及啓発活動を実施しており、改善されている

赤字: 2年連続で改善されていない  
青字: 改善されている

## ⑧地域包括支援センター寿永 平成30年度運営評価結果の概要



### 【評価】

- すべての項目でよく取組まれているが、3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目の自己評価が低く、全国平均を下回っている。

### 【課題】

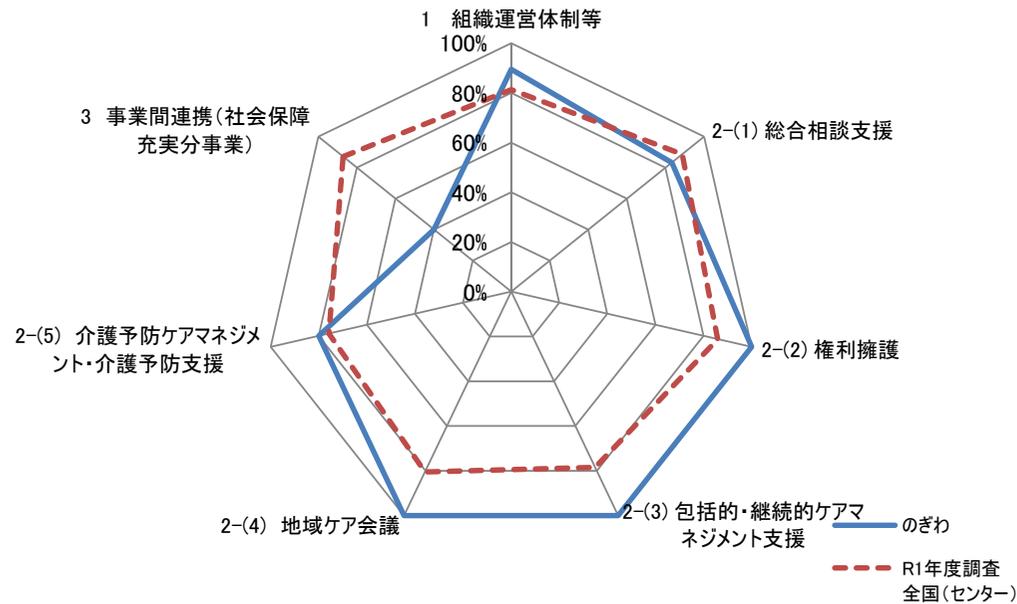
- 3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目では、地域包括支援センターから生活支援コーディネーター等への連携ができていない。

赤字: 2年連続で改善されていない  
青字: 改善されている

### 【昨年度の課題】

- ケアマネジャーの課題の把握、分析が行われていない ⇒ 改善されている
- 地域課題の抽出、課題分析から日常生活圏域ケア会議が開催されていない ⇒ ネットワーク構築の会議となっており、改善されていないが、令和元年度は、地域課題の検討を行っている

## ⑨地域包括支援センターのぎわ 平成30年度運営評価結果の概要



### 【評価】

- すべての項目でよく取組まれているが、3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目の自己評価が非常に低く、全国平均を下回っている。

### 【課題】

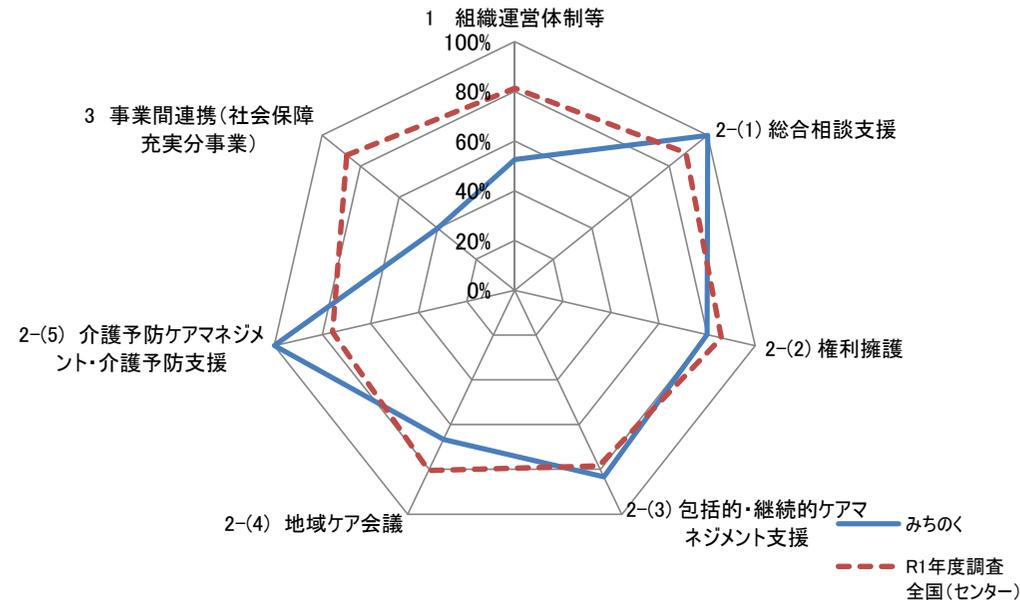
- 3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目では、地域包括支援センターから生活支援コーディネーター等への連携ができていない。

赤字: 2年連続で改善されていない  
青字: 改善されている

### 【昨年度の課題】

- 認知症ケアパスの普及活動の取組が行われていない ⇒ 認知症カフェに認知症ケアパスを設置し、参加者に説明しており、改善されている

## ⑩地域包括支援センターみちのく 平成30年度運営評価結果の概要



### 【評価】

- ・ 運営評価結果では、取組のばらつきがある。
- ・ 1組織運営体制等、3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目の自己評価が非常に低く、全国平均を下回っている。

### 【課題】

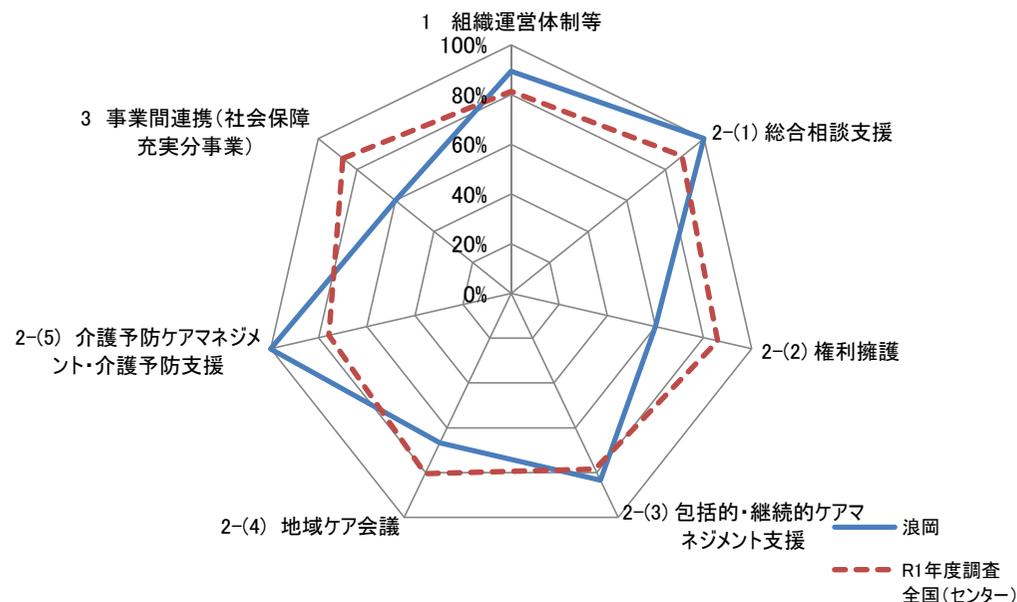
- ・ 1組織運営体制等の項目では、個人情報に関する取り組みが弱い。
- ・ 2-(4)地域ケア会議の項目は、地域課題について検討されているものの、会議参加者への情報共有がされていない。
- ・ 3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目では、地域包括支援センターから生活支援コーディネーター等への連携ができていない。

赤字: 2年連続で改善されていない  
青字: 改善されている

### 【昨年度の課題】

- ・ 新たに圏域となった地区の社会資源マップやリストの作成や既存の社会資源マップ、リストの見直しが行われていない ⇒ 改善されている
- ・ 地域ケア個別会議や総合相談等からの地域課題の抽出が行われていない ⇒ 改善されている

## ⑪地域包括支援センター浪岡 平成30年度運営評価結果の概要



### 【評価】

- ・ 運営評価結果では、取組のばらつきがある。
- ・ 2-(2) 権利擁護、2-(4) 地域ケア会議、3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目の自己評価が全国平均より低い。

### 【課題】

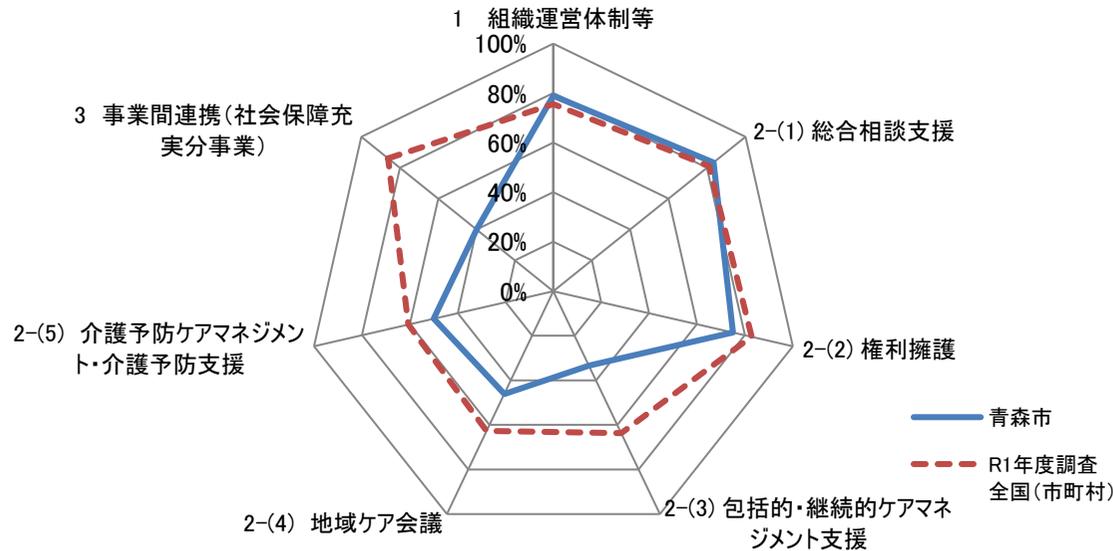
- ・ 2-(2) 権利擁護の項目は、相談・支援は十分に行われているが、関係機関との情報共有が図られていない。
- ・ 2-(4) 地域ケア会議の項目は、会議参加者への情報共有がされていない。
- ・ 3事業間連携(社会保障充実分事業)の項目では、地域包括支援センターから生活支援コーディネーター等への連携ができていない。

赤字: 2年連続で改善されていない  
青字: 改善されている

### 【昨年度の課題】

- ・ 前年度の事業計画が評価されていない ⇒ 改善されている
- ・ 社会資源のマップやリストの見直しが行われていない ⇒ 改善されている
- ・ 圏域の介護支援専門員の課題の分析がされていない ⇒ 改善されている

## ⑫青森市 平成30年度自己評価の概要



### 【課題】

- ・2-(2)権利擁護では、成年後見制度の市長申し立てに関する判断基準を地域包括支援センターと共有できていない。
- ・2-(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援では、介護支援専門員を対象とした意見収集等を実施していない。
- ・2-(4)地域ケア会議では、ルールや仕組みの構築が不十分である。
- ・2-(5)介護予防ケアマネジメント・介護予防支援では、基本方針の周知等が不十分である。
- ・3事業間連携(社会保障充実分事業)では、生活支援コーディネーター等との連携にかかる支援については、不十分である。

### 【まとめ】

今回の結果を踏まえ、改善項目が明らかとなったことから、令和元年度においては、地域包括支援センターとの連携を強化し、特に自己評価が低い

- ・2-(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援におけるケアマネジャー支援として、医学的知識の向上を図ることを目的とした研修会の開催や、アンケート調査によるニーズの把握に努めています。
- ・3事業間連携(社会保障充実分事業)では、毎月開催している地域包括支援センター連絡会担当者会議に生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の参加を位置づけ、生活支援コーディネーターと地域包括支援センターの連携・情報共有のための支援を行っています。

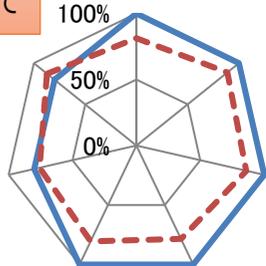
その他、

- ・2-(2)権利擁護では、成年後見制度について、社会福祉士部会で作成した成年後見制度事例集を活用し、地域包括支援センター連絡会担当者会議で、地域包括支援センターと再度判断基準等を共有するとともに、地域包括支援センターを通じてケアマネジャーへの周知を図ります。
- ・2-(4)地域ケア会議では、地域ケア会議の機能や情報共有のあり方についてあらためて周知し、モニタリングについては、報告書の様式にモニタリングに関する項目を令和元年度から新たに設け、モニタリングへの意識付けを行っています。

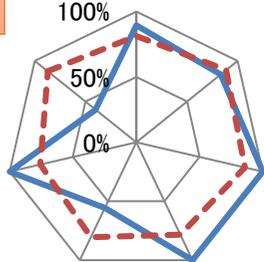
# 平成30年度地域包括支援センター運営評価

— 地域包括支援センター 青森市 —  
 - - - R1年度調査全国(市町村)

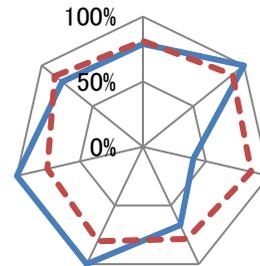
おきだて



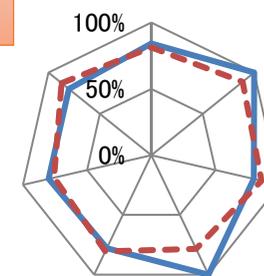
すずかけ



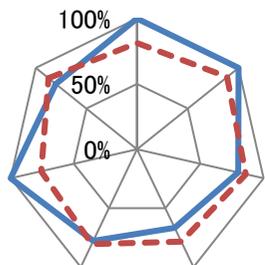
中央



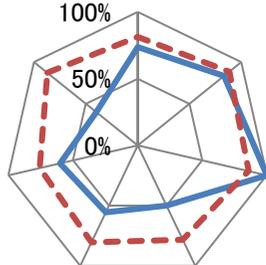
東青森



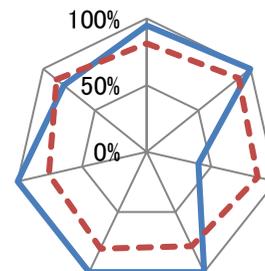
南



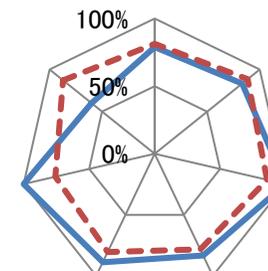
東部



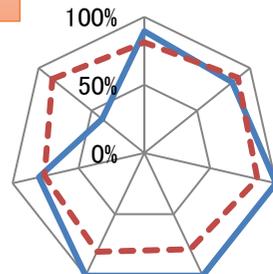
おおの



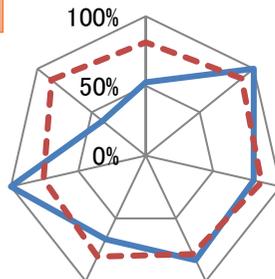
寿永



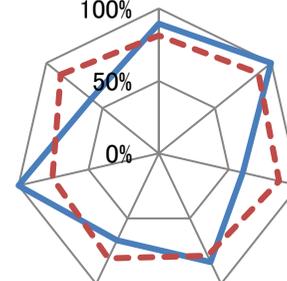
のぎわ



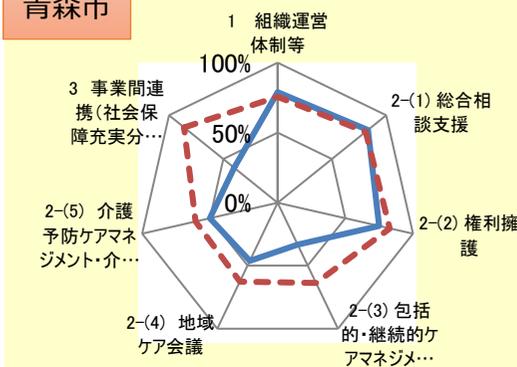
みちのく



浪岡



青森市



## 総合評価

- 7つの業務区分における平成30年度運営評価の結果では、地域包括支援センターにおいては概ね全国平均を上回っており、概ね適切に運営されていると評価できるが、市においては、全国平均を下回る業務区分が多い。
- 事業間連携（社会保障充実分事業）については、すべての地域包括支援センター及び市において、自己評価が全国平均より低い。
- 権利擁護及び地域ケア会議については、半数以上の地域包括支援センターにおいて自己評価が全国平均より低く、すべての地域包括支援センターの自己評価平均においても全国平均より低い。また、市の自己評価も全国平均より低い。
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援については、地域包括支援センターにおいては概ね高い評価であるが、市では評価が低い。

# 平成30度青森市地域包括支援センター運営評価結果のまとめ

## 今後の課題と業務改善等の実施方針

### 1 地域包括支援センター

- 事業間連携(社会保障充実分事業)について
  - ・認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報(事例の経過や支援結果等)共有の強化を図る。
  - ・生活支援コーディネーター及び協議体と、地域における高齢者のニーズや社会資源について協議し情報共有が図られる仕組みづくりを構築する。
- 権利擁護業務について
  - ・高齢者の虐待事例や消費者被害について地域包括支援センターが実施している相談・支援について、関係機関との情報共有や連携の強化を図る。
- 地域ケア会議について
  - ・地域ケア会議における検討が地域課題の解決につながるよう、各日常生活圏域内における課題の抽出や、課題に即した会議の開催、検討した内容の会議参加者の情報共有、その後のモニタリングの充実を図る。

### 2 青森市

- 事業間連携(社会保障充実分事業)について
  - ・生活支援コーディネーター及び協議体と、また、在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口とセンターの連絡・調整が図られるよう、連絡会議の開催や情報共有の仕組みづくりを支援する。
  - ・医療関係者とセンターの合同の事例検討会の開催を支援する。
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務について
  - ・センターとの介護支援専門員のニーズの共有と、多様な関係機関等との意見交換の場を充実させる。
  - ・センターが介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分析し件数を把握する。
- 地域ケア会議について
  - ・地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュールを盛り込んだ開催計画をセンターに示し、地域の関係者に周知する。
  - ・地域ケア会議における検討が地域課題の解決につながるよう、検討した内容の会議参加者の情報共有、その後のモニタリングのルールや仕組み等を構築、実行し、会議の概要を市民に公表する。
- 権利擁護業務について
  - ・成年後見制度の市長申立に関する判断基準を地域包括支援センターと共有する。